

もりおか復興応援フリーマガジン

Stitch
[ステッチ]

VOL.02
2011.11

02 支える気持ちをつないでいこう!

今こそはじめようボランティア

- 04 盛岡市社会福祉協議会 藤澤佳代さん
- 05 岩手県立大学 復興girls*
- 06 ボランティアに関する100人アンケート
- 07 ADBOAT JAPAN

初めてでも!一人でも! 「盛岡市かわいキャンプ」活用ガイド

- 09 日帰りボランティア体験レポート
- 10 [避難者のみなさまへ]生活支援情報
- 11 [避難者のみなさまへ]もりおか復興支援センター
- 12 いしがきMUSIC FESTIVAL 2011 三陸前夜祭レポート
- 13 買い物で応援しよう!
- 14 おすすめ宴会ガイド

東日本大震災
復興支
援定
期預
金

もりおか復興応援
フリーマガジン
Stitch
[ステッチ]
VOL.02
2011.11

発行日／2011年11月25日発行 発行／もりおか復興支援センター 盛岡市内丸3-46 TEL 019-654-2521(総合) 019-654-2502(復興推進広報事業)

企画・編集／株式会社ラヂオもりおか、テサイン／冬部幸治(創造集団 あぐら) 印刷／山口出版印刷株式会社 Special Thanks / 取材 制作にご協力いただいた皆様

*

※取材・撮影・制作など本誌作成にご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。※掲載されている情報は平成23年11月10日現在のものです。発行後は情報が変更されることがあります。※無断転載禁止。

明日の岩手へ!
!

2011.3.11
震災復興

〈スプレーマム〉花言葉:清らかな愛、逆境の中で元気

みんなができる津波、震災遺児・孤児の支援。

みなさまの熱い想いを「いわての学び希望基金」へ寄付させて頂きます

お取扱い期間 平成23年12月1日(木)～平成24年1月31日(火)

平成24年1月31日時点での本定期預金残高の0.05%相当額を、当金庫が「いわての学び希望基金」へ寄付させて頂きます。(お客様の負担はございません)

預入期間

たとえば…

1年もの
預入時の店頭表示金利に
年0.10%
上乗せ!
(税引き後年0.08%)

本定期預金に100万円をお預け頂き、店頭表示金利が0.025%の場合、1年間でお受け取りになる利息は、

- ①税引き前のお利息
 $1,000,000円 \times (0.025\% + 0.10\%) = 1,250円$
- ②税金
 $\{1,250円 \times 15\% \text{ (国税)}\} + \{1,250円 \times 5\% \text{ (地方税)}\} = 250円$
- ③税引き後のお利息
 $1,250円 - 250円 = 1,000円$

- ◆お預け入れ金額／10万円以上(新規のお預け入れに限ります)
- ◆金利／預入時の店頭表示金利に年0.10%(税引き後年0.08%)上乗せ
- ◆お預け入れ期間／1年・自動継続 ◆対象／個人および法人のお客様

定期預金に関する注意事項

●ご利用いただける方:個人・法人のお客様 ●対象商品:スーパー定期・大口定期※自動継続のみのお取扱いとなります。(満期日までに継続を停止する申出がない場合には、満期日に当初お預け入れ時と同じお預け入れ期間で自動的に書替継続致します。) ●お預け入れ金額:1口座10万円以上※10万円以上の新規お預け入れに限ります。●お預け入れ期間:1年 ●適用金利(特別金利):店頭表示金利+0.10%※当年の1年間のみの適用となり、その後は満期時点における1年ものの定期預金店頭表示金利となります。※店頭表示金利については、店頭の金利表示ボードもしくは当金庫ホームページにてご確認下さい。※中途解約:満期日前に解約された場合は、当金庫所定の中途解約利率が適用されます。※満期日以降のお利息は、解約日または書替継続をした日における普通預金利率により計算します。●本定期預金は、預金保険制度の対象商品です。●金利情勢の変動等により、取扱期間内であってもお取扱いを終了させていただく場合がありますので、お早めにお申込み下さい。

“あなたのそばに もっと身近に”
Face to Face 盛岡信用金庫
<http://www.morishin.co.jp/>

平成23年12月1日現在

*詳しくは、当金庫本店・支店窓口または渉外係にお気軽におたずね下さい。また、店頭に「説明書」をご用意しております。

支える気持ちを つないでいこう！

東日本大震災から8カ月以上がたちました。

被災地では、避難所がその役目を終え閉鎖となり、まちを覆っていたガレキはきれいに寄せられ、自衛隊や全国の警察もそれぞれの「場所」に戻っていました。

被災地のニュースがトップや一面を飾ることはほとんどなくなり、ボランティアの数もだいぶ少くなりました。

それは、被災地が復興に向けて歩き出した、立ち上がりはじめた、という証。だけど、まだ「終わり」ではありません。

これからやつと、はじまるのです。

大きく強い力が必要だった時期を過ぎ、今必要なのは、小さくとも、ずっと続けていく力。

長い道のりを、ときに寄り添い、ときには少し後ろで歩いてくれる、さりげなく、たしかな力。

被災地ではまだまだ、たくさんの人の力を必要としています。

今回のstitchは「ボランティア」を特集。被災地が抱える問題も、必要とする支援のかたちも変化しつつある今、ボランティアに求められていることはどんなことなのか。そして、今からボランティアをはじめるには何をしたらいいのかなど、いろんな角度から考えました。

次々と新しいニュースがうまれる日々のなかで「あの日」を忘れずに見つめ続け、支え続けていくことは、けっこう難しい。でも、同じ岩手にいる私たちなら、それができる。

stitchは、そう確信しています。

ひとりひとりの小さな力を集めて、たしかな力に。

「支える気持ち」を届けよう、盛岡から。
今こそはじめよう、ボランティア。





岩手県立大学 復興girls*

結成メンバーの2年生9人。最近では1年生も参加始め、活動を長期的に継続するビジョンが見えてきたという。右から3人目がリーダーの野中さん

みんなで
応援しよう

思いを声に出す」と
すべてが始まる

イベントや不ツトを通じて注目を集めてきた復興ガールズですが「支援活動とはこうあるべき」という気負いは感じられず、いたつて自然体。「岩手のために何かしたい」という純粹な気持ちを、「自分たちにできることで」「みんなの力を借りながら」肩肘張らずに力タチにし、少しづつ、でも着実に沿岸を元気にしています。

**岩手のためはできることがあります
肩肘張らずに力タチにしたい**

岩手のためにできることを 肩肘張らずにカタチにしたい

が多かつたのですが、今はソフト面、つまり心のケアが中心になりつつあります。社協に要請が入るボランティアは『サロン活動』が多いですね』
サロン活動とは、被災した人たちが気軽におしゃべりを楽しみ、交流を深

震災直後といひながら、ガレキが片付き、避難所も閉鎖された今、ガレキ撤去や焼き出しのボランティアは「いい意味で」減っているそう。でも、だからといって「ボランティアは必要なくなった」わけではない、と藤澤さん。では今現在、被災地でボランティアに求められていることは、どんなことなのでしょうか？

応や情報収集、被災地の社会福祉協議会との連絡や支援に追われる日々。ほんとうに嵐のような忙しさでした

盛岡市民のボランティア活動をサポートする相談窓口として、情報提供やマッチングなどを行っている「社会福祉法人 盛岡市社会福祉協議会(社協)」。東日本大震災発生後も、すぐに「盛岡市災害ボランティアセンター」を立ち上げ、県内外からのボランティア受け入れに対応してきました。

八二年九月

今こそはじめよう ボランティア



藤澤佳代さわざわ ゆきよ

- 盛岡市社会福祉協議会 地域福祉課 主任
ボランティア受け入れの担当をしていて、時々被災地のサロンにも顔を出すなど、ボランティア事情に精通している。

今、被災地で必要なのは
「心のふれあい」

復興ガーネルズは、リーダー・野中里葉さんのそんなひと言から始まりました。沿岸被災地の惨状を知ることに、いつもたつてもいられないという思いを強くした野中さん。「何かしたい」と口にした思いに、友人たちが共感。「何かしよう!」と活動を開始しました。みんなで「復興を支えるためにするべきこと」を模索しているうちに「被災地の企業を元気にしたい」と考へるようになります。

手探り状態の彼女たちは、大学の先生のアドバイスで「盛岡手作り村」の佐々木雷藏さんに協力を依頼。佐々木さんが紹介してくれた企業や団体と直

ントで販売することに。さらには「消費拡大が漁業の復興につながる」と、ワカメを使った料理のレシピを考え、一ヵ月間、毎日ウェブサイトで紹介。そんな彼女たちらしいアイデアで、少しでも多くの販売につながるよう取り組みました。

次回イベント
WAのまちもりおか
森のリースフェスティバル

WAのまちもりおか
森のリースフェスティバル

- 福祉ブランド&岩手県立大学復興girls*チャリティ販売会
 - 12月3日(土)、4日(日)
10:30～16:00
 - ブラザおでって3階会議室
 - 人気の高田松原の松を利用したキーホルダー「松光」、田野烟ハックの家の「裂き織コスター」などさまざまなグッズの販売会。

「こんなに大きなことができるようになるとは思わなかつた」と口を揃えるメンバーたち。「言い出しつ。」のリーダー・野中さんは「ひとりでは絶対なにもできなかつた。『何かしたい』というひと言にみんなが集まつてくれ、それぞれが役割を分担し、カタチにしてきました」と話します。

長期的な支援が必要とされる沿岸地域復興のために、これからも活動を続けて行きたい、と、決意を語る復興ガールズ。被災地を応援、といながら、実際に自分たちが被災地のみなさんに支えられ、助けられている、と感じることも少なくないそう。

応援したい、役立ちたい。復興ガールズの活動は、その気持ちを行動に移す大きさを伝えてくれます。メンバーの米沢あゆみさんはこう言います。

「なにかしたい」という気持ちがあるなら、それを誰かに伝えてほしい。たつたそれだけのことがきっかけになるんです」

ボランティアの申し込み、相談を受け付けています

盛岡市社会福祉協議会では、震災関連のボランティア希望者への情報提供やマッチングを行っています。

窓口や電話で問い合わせるときは、「震災関連のボランティアをしたい」と伝えるとスムーズ。活動場所や活動内容の希望なども、相談を受け付けています。

希望する活動とのマッチングがうまくいかない場合でも、その活動を受け入れできそうな団体の情報を提供するなどで対応しています。

まずは気軽に問い合わせてみてくださいね。

盛岡市社会福祉協議会

- 〒020-0886 岩手県盛岡市若園町2番2号 盛岡市総合福祉センター内
- TEL:019-651-1000
- FAX:019-622-4999
- E-mail:info@morioka-shakkyo.or.jp

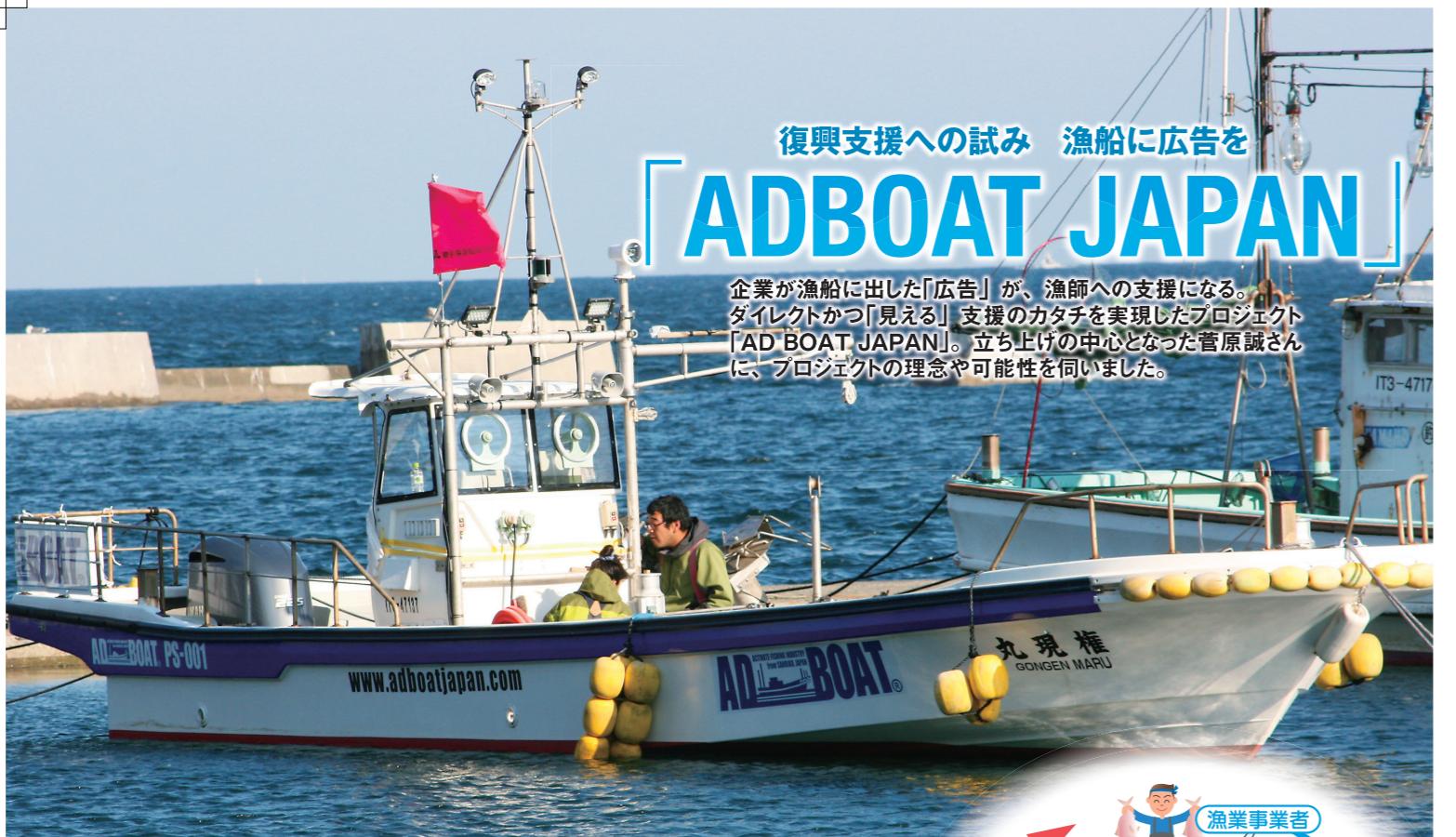


盛岡市社会福祉協議会

- 〒020-0886 岩手県盛岡市若園町2番2号 盛岡市総合福祉センター内
 - TEL:019-651-1000
 - FAX:019-622-4999
 - E-mail:info@morioka-shakyo.or.jp

などソフト面での活動要請が多くなったことから「これなら私でもお手伝いできそう」とボランティアの申し込みをする人も増えているそうです。

「復興には本当に長い時間がかかります。県外へのボランティア派遣は、



復興支援への試み 漁船に広告を 「ADBOAT JAPAN」

企業が漁船に出した「広告」が、漁師への支援になる。ダイレクトかつ「見える」支援のカタチを実現したプロジェクト「AD BOAT JAPAN」。立ち上げの中心となった菅原誠さんに、プロジェクトの理念や可能性を伺いました。



明日をも見えない日々を送る漁師たちのため、スピードナーな支援をしたい。でも、税金や義援金による支援は手元に届くまでに時間がかかるうえ様々な制約をうけてしまう可能性がある……。これらの問題点をクリアにし、素早くかつ柔軟に対応できるのは、企業による支援である、と考えた菅原さんたち。さらに、支援する側とされる側でお互いに見えていないことに気づきます。顔が見える明白な支援の方法、その答えが、企業ロゴや企業名を船体や大漁旗に載せるというやり方でした。

漁師と企業をダイレクトにつなぐ

「生き生きと働く漁師の姿」を
盛岡市内で靴店を営む菅原誠さんは、震災の発生直後からほかの支援者とともに被災地を回り、支援物資として靴を提供してきました。被災地のほとんどは、漁業を主幹産業とする漁師町。港や船は壊滅的な被害を受け、漁業再開の見通しが立っていませんでした。そんな状況を見るにつけ「本当に必要な支援とは何か」を考え続けていた、と振り返ります。

沈み込んでいる大人たちの姿を見て、子どもたちが故郷を嫌いになってしまわないだろうか。そうなつたら、子どもはここを離れ、ゆくゆくは町がなくなつてしまふ——。なによりもそのことを心配した菅原さんたちは、「漁師が元気になれば、町も活気を取り戻す」と考え、漁師たちが再び漁に出られるよう支援する方法を模索しはじめました。

特典もいろいろ! 個人で参加できる「個人アドボート」

企業だけでなく、個人での参加もできる「ADBOAT JAPAN」。支援した船から海産物ギフトが届くなど、支える側にもうれしい特典がいろいろあります。

- 「個人アドボート」参加特典
 - 「ADBOAT JAPAN」ホームページでの名前掲載
 - 支援船からの海産物ギフト(年1回)
 - 「ADBOAT JAPAN」主催イベントへの優待(現地および都内)
 - 「ADBOAT JAPAN」ロゴ入りオリジナルグッズ

参加申込み方法

必要事項を明記の上、メールで申込み。返信メールが届いたら、1週間以内にそのメールに記載してある口座へ参加料金を振込みます。
●個人アドボート参加料金／一口21,000円(税込)※1年間有効

- 申込み必要事項
氏名／HPのリストに記載する名前／住所／電話番号／メールアドレス／漁師たちへのメッセージ／その他意見等
■メール送付先 INFO@adboatjapan.com

プロジェクトに参加した企業は「広告費」を使い、漁師たちの船に社名を入れる。その料金のうち諸費用を除いた分が漁師に渡り、漁業の運転資金に使われます。企業は支援活動を経費として計上できるうえ、「どんな支援をしているか」を明確に示すことができるので、「広告収入」という、使い道の自由度が高いお金を手に入れることができます。

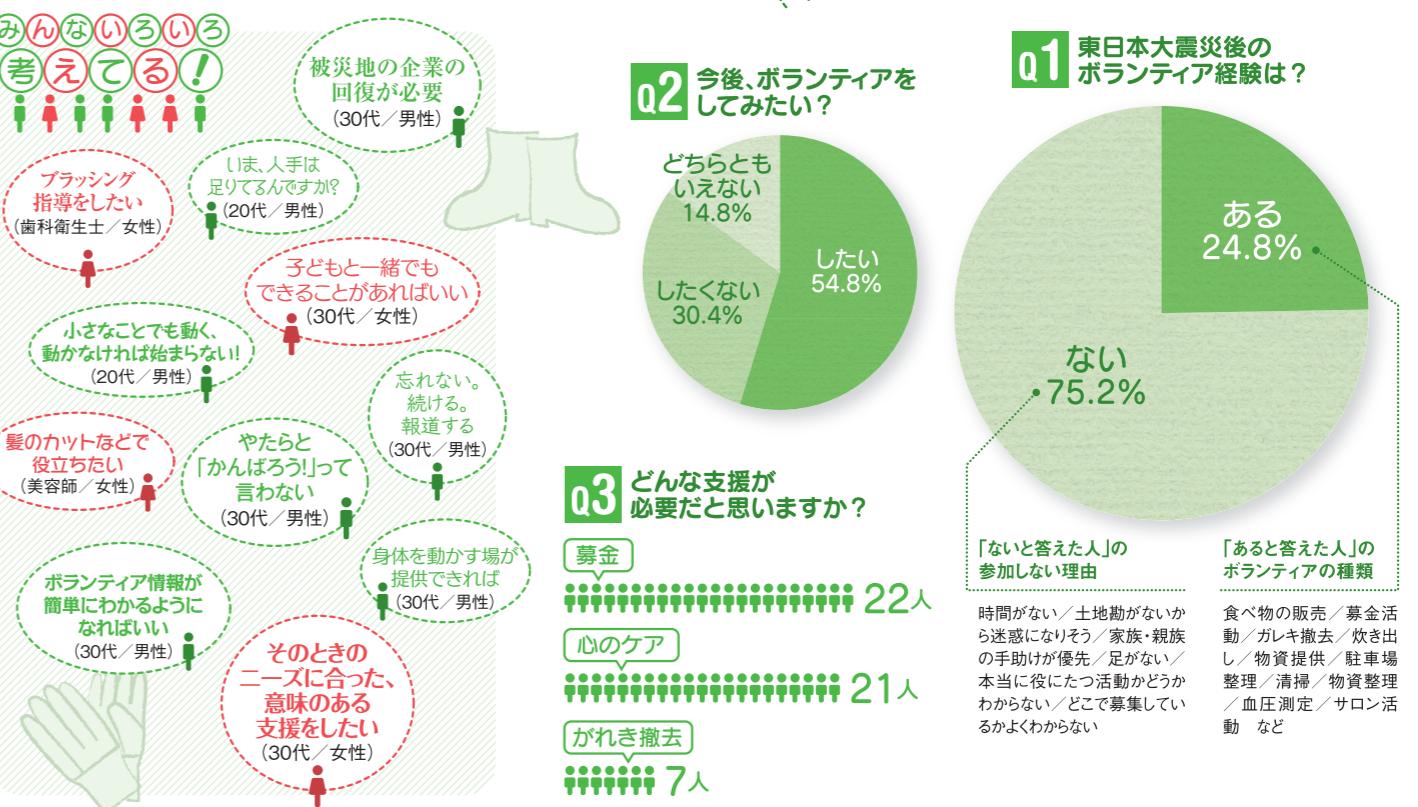
「ADBOAT JAPAN」と名付けられた、このプロジェクトの広告掲載期間は1年間。現在18艘の参加が決まっており、10月末には第一艘目の船を出港させました。双方にとつてメリットとなる、新しい支援のカタチ「ADBOAT JAPAN」。最低10年は続けられる組織づくりを目指している、という菅原さんは「このプロジェクトにとつていちはんの利益は、漁師さんたちが復興して喜んでくれること」と話してくれま

募金をしたり、被災地のものを買ったり。
ボランティアだけが支援の形ではないけれど今でも必要とされているボランティア。
「本当のところ、みんなそんなにボランティアしているの？」
気になるみんなのボランティア体験について、アンケートを実施しました。

ボランティアに関する100人アンケート

ボランティアって どう思う?

通りがかりの盛岡の人たち
100人に聞きました!



未経験者の半数以上がボランティアに肯定的

半数以上がボランティアには参加しないと答えた方も「時間があれば足を伸ばして直接支援をしてみたい（30代／男性）」「盛岡でできることがあれば（40代／女性）」など条件的に折り合わないから参加できない、でき見られました。

震災ボランティアは本当に身近なこと?

震災をきっかけに、ボランティアへの意識が変わってきたといわれます。震災前は「ボランティア」について考えたこともなかつた人が多数派だったのではないかでしょうか。

アンケートでは約25パーセントの人が震災後ボランティア経験があると回答しました。被災地での直接支援のほか、募金や物資提供なども。回数は1回から定期的に行っている人までさまざま。

ボランティア活動は、できることをムリのないペースで行うのがいちばん。ゼロよりは1回、1回よりは定期的に行うのが理想ですが、はりきりすぎると負担が大きく辛くなってしまうこともあります。また、ボランティアの種類によつて合う、合わないという相性もあります。「まずお試しで1度」「月1回くらいなら」という姿勢の方が長続きする

アンケート調査方法

- stitch編集部が盛岡市内にて通行人への聞き取り調査を行い、盛岡市在住者88人を含む岩手県内在住者の回答を集計した。
 - 調査場所／盛岡市中心部
 - 調査期間／2011年10月11日～21日(計11日間)
 - サンプル数／117人(男57女60)
 - 年齢構成／20代28人／30代32人／40代25人／その他32人



この震災を忘れず、長く寄り添うこと

現地に行つての直接支援は少なくとも丸1日かかります。しかも通常、事前に情報収集、申し込み手続きなどの準備が必要。「各団体の明確な活動内容、募集内容を発信してほしい（20代／男性）」との声も。ボランティアのニーズは刻々と変わっていきます。希望の活動が、参加できる日にあるとは限らず、「したい活動」にこだわる場合は、こまめな情報収集が必要です。さらに現状を指摘する意見もあります。

した。

「震災当時は内陸でも生活が不自由で、ボランティアに対し気持ち的に積極的だったが、時間の経過とともに、意識が薄れてきたのかもしれない（30代／男性）」

同じ県内に住む私たちが、常に沿岸の復興を意識し続けることがいちばんの支援なのかもしれません。

盛岡発 日帰りボランティア 体験レポート

かわい
キャンプ

13:30 午後の活動



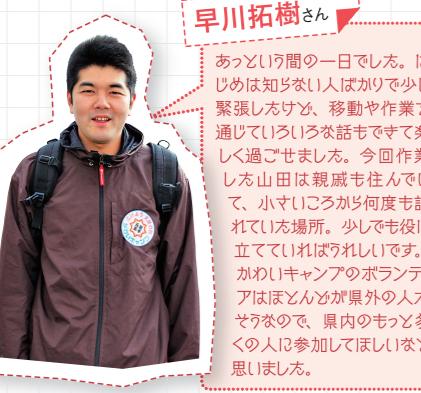
9:30 到着、活動開始!



15:00 作業終了



17:00~17:30 盛岡市かわいキャンプ到着



「気軽に参加を!と言われても…」
わからないことが多いとためらいも大きいもの。
そこで、盛岡市かわいキャンプを通じた
一日ボランティア活動をレポートします。

※ボランティアの内容は活動実施日のものです。
その日によって、派遣先、活動内容は異なります。

~3日前 申し込み

かわいキャンプに電話します。活動内容(がれき撤去、サロン活動など)の希望に応じ、派遣先が決まります。ウェブサイトから申請書をダウンロードし、記入・提出して申し込み完了です。

持ち物や注意点、気になることは聞いておきましょう

~前日 保険加入

ボランティア保険の加入は必須。住んでいる地域の社会福祉協議会で加入します。

加入には印鑑が必要です

7:30 集合、受付



国道106号沿いの盛岡市かわいキャンプに集合。340号と交差する手前、左手に見える学校の建物がかわいキャンプです。到着後は受け付けをします。

体調と相談し次第から業務しましょう

8:00 オリエンテーション



1朝のオリエンテーションから活動がはじまります
2活動はその日の依頼によって異なります
3長期滞在や団体ボランティアの人たちは自炊もできます
4活動後、ほっとするひとときです

12:00 お昼休み



ボランティアセンターに戻ってお昼休み。カップ麺や温かい飲み物用にお湯が用意されています。

沖縄や九州からのボランティアさんもいて、いろいろな話題で楽しく過ごしました

今日の活動は山田町です

盛岡市

ボランティアと被災地をつなぐ拠点 「かわいキャンプ」活用ガイド

初めてでも!
一人でも!



マッチング(活動の紹介)から送迎まで、沿岸被災地でのボランティア活動を支援する「盛岡市かわいキャンプ」。被災地でのボランティアに興味があるチャンスがあれば参加したい、という人は、「盛岡市かわいキャンプ」でボランティアデビューをしませんか?

被災地でボランティア活動をしたい!
だけどどこに相談したらいいんだろ

う?

そんな「意欲はあるのに、何から始めたらいいかわからない」という人に利用をおすすめするのが「盛岡市かわいキャンプ」。沿岸被災地での長期的なボランティア活動を支援するため、盛岡市が設置した施設です。

「盛岡市かわいキャンプ」の主な機能は、①ボランティアの受け入れ、②被災地のボランティアニーズとのマッチング、③被災地(活動場所)への送迎、の3つ。ボランティア希望者にとってハードルになりがちな「どこに相談すればいいかわからない」「どんな活動をしたらいいのかわからない」「被災地へ自力で行くのがむずかしい」という問題を一度に解決し、スムーズに活動できるようオリエンテーションを行い、作業内容の説明や参加者同士の顔合わせをするので、ボランティアは初めて、1人でも参加したい、という人でも安心です。

現在、「盛岡市かわいキャンプ」に求められているボランティア活動は、被災地の人たちとおしゃべりなどで交流する「ふれあいサロン」のお手伝い、がれき

DATA

- 富吉市川井1-60-3
- 0193-76-2005
- FAX 0193-76-2231
(受付は午前9時~午後6時まで)
- e-mail : kawai-camp@echna.ne.jp
- http://www.morioka-shakyo.or.jp/
- 利用料／無料
- 休み／年末年始
- 駐車場／60台
- 交通
 - [自動車] 盛岡から約60km(約1時間30分)
 - [バス] 盛岡駅前、盛岡バスセンターから106急行利用。上川井停留所下車(約1時間30分)
 - [鉄道] JR盛岡駅から山田線利用。陸中川井駅下車(約1時間30分)

「盛岡市かわいキャンプ」機能と設備

- 被災地のボランティアニーズとのマッチング(活動の紹介)
- 沿岸被災地までの送迎車両の運行
- 寝泊まりができるスペースの提供
- 仮設シャワー、洗濯機、調理室

参加対象者

沿岸被災地でボランティア活動を希望する個人および団体(高校生以上)
※高校生は親権者の同意が必要です。

撤去、写真洗い作業など。その日でできることですが、「こんなことをしたい」「これならできる」など希望のある人は、受付時に伝えることができます。「盛岡市かわいキャンプ」は宿泊設備を無料で利用でき、ここを拠点に数日、数週間単位でボランティア活動をする人もいますが、朝8時からのオリエンテーションに参加できる人なら、日帰りも大歓迎。盛岡から「盛岡市かわいキャンプ」までは車で約1時間20分。バス利用の場合、5時45分盛岡駅発の「106急行(岩手県北バス)」に乗れば間に合います。被災地でのボランティア、やってみたい、興味がある、という人は、「盛岡市かわいキャンプ」でその一步を踏み出しませんか。



俺たちは祭りの為に生きている
それは今でも変わらない

向川原虎舞 中村光高

加藤清正の虎退治の歌舞伎演目が元となってい
る『向川原虎舞』。「人々自分たちは祭りの為に生
きている。どこにいたって祭りがあればその為に大棺に戻ってくる。この震災で多くの人が亡くなつて、仲間も失つた。虎舞は祝い事で舞うこ
とが多いけれど、今は死んだ仲間を想つて舞を続けたい。そして、見て
くれた人を勇気づけるためにいろんな公演に参加したいと思っている」。
祭りとともに生きていく事は、世代も天災も越えた、この土地に生きる
者の『生き様』なのである。



私たちと会うことで
子供たちに違う視点を

チ ミュ ! シアター
～こども劇場～ 高梨由

被災地域の子供達の元気な姿を見てもらいたい、という目的で結成されたブチミュ！シアター。「今回の練習期間はたった3日なのに、みんな1日でセリフも覚えてくれました。子どもたちの一生懸命さと無限の可能性を伸ばしてあげたいと思うようになりました。私たちと出会うことで、今までになかった視点が身について、いろんな夢を持ってもらいたいんです」。子どもたちは震災で抑えられていたものを解放するかのように、ありったけの元気でステージで演技してくれた。

部員も楽器も無事だったが、震災直後は部活動をやる雰囲気ではなかったという。活動再開のきっかけは1ヶ月たった頃、生徒から楽器を触りたいという声。「やっと活動ができる喜びや震災を経験したこと、人や楽器への接し方が丁寧になったを感じています。そういう心を通して、演奏する側と聞く側がWin-Winの関係を、演奏者としての喜びを感じられるように成長してほしいです」と金森先生は語った。震災を経験した彼らの演奏は、どこか誇らしげで充実感に満ちていた。



9月24日に行われた、もりおか復興支援センター チャリティー公演誘致事業「いしがき Music Festival 2011 三陸前夜祭」。地元アーティストを含む10組の公演や、地元大槌の方による出店も祭りに 参加。三陸前夜祭は、訪れた人々に大きな感動と元気 を与えてくれた。アーティストたちが音楽や芸能を通して、震災や復興へどのようにかかわっていこうとしているのか。出演した4組のアーティストに、その気持ちを伺った。



いしがきミュージックフェスティバル2011
三陸前夜祭
出演者インタビュー



ただ仕事して終わっちゃう人生じゃなく
“楽しい暮らし”を探しながら

RIA + ノリシゲ ノリシゲ

アーティストとして活動しながらも大槻に活動拠点を置くノリシゲ。沿岸の今後の課題についての話になった時のこと。「沿岸全体の問題つて今仕事がないことだけど、そこに外から新しい人が来て繋がりが生まれれば新しい仕事になる。交流することって刺激的だし、それで日々の感じ方がかわることだってある。そういうことで未来が想像できて大槻で暮らしたいと思う若い人を増やせると思っている。もちろん自分の人生も刺激のあるものにしていきたいし、自分が楽しむことも一つの復興だから。一人でも多くこういう仕事をしたいと心から思える環境を作りたい」。確かに、今人々が忘れている絆の再構築が、一番の問題である仕事を生み出すことにもなる。一人ひとりが楽しむことが復興にもつながるという想いを強く感じた。

5th Anniversary MOSS創館祭

12 / 9 (fri) ~ 12 / 25 (sun)

information

- スタンプラリー
- ミュージックライブ
- d-torso 展
- パーキングチケットバック
- 各店創館祭企画

and more • • •



MOSS

MORIOKA
OODORI
SHOPPING & SCREEN



「スペシャル宴会コース」は
4,000円で飲み放題が時間無制限！

定番料理からアイデア料理まで、豊富なメニュー数を誇る。特に、ひな鳥を炭火でじっくり焼上げた「新子焼」は、パリッとしなめ、4,000円コースがお得。



予約10名以上の場合、幹事様1名無料もしくは銘酒1本サービス！
「ステッチ見た」で生ビールもしくはチューハイ類1杯無料！



炭火焼・居酒屋 やまざき

●住所／盛岡市中央通1-11-7 笹川ビル1F ●TEL 019-625-7203
●営業時間／18:00～朝4:00 ●定休日／日曜 ●席数／44席
●個室数／1部屋 ●駐車場／なし



BEER PUB BAEREN材木町

●住所／盛岡市材木町7-31 ●TEL 019-626-2771
●営業時間／17:00～23:00 ●定休日／火曜 ●席数／40席
●駐車場／なし



BEER PUB BAEREN中ノ橋

●住所／盛岡市中ノ橋通1-1-21 ●TEL 019-651-6555
●営業時間／17:00～24:00 ●定休日／日祝(連休の場合、最終日)
●席数／30席 ●駐車場／なし



宴会コースは
人気の地ビールが飲み放題！

地ビールからインポートビールまで
充実のラインナップ

世界中の地ビール、「ベアレン醸造所」の直営レストラン。宴会コースはアレンビールを含むドリンク飲み放題、料理5品付きで3,500円から楽しめる。

世界中の地ビール、「ベアレン醸造所」の直営レストラン。宴会コースはアレンビールを含むドリンク飲み放題、料理5品付きで3,500円から楽しめる。

おすすめ宴会ガイド

「ステッチ Vol.2」設置店

ステッチ編集部からVol.2設置のお願いにご協力をいただいた飲食店を紹介。

募金箱を置いたり、復興支援に頑張っているお店を掲載しています。

飲んで、食べて、楽しんで、そして復興支援にちょっとのお気持ちをくださればうれしいです。

みんなで復興を応援しよう！



岩手の少年サッカー応援してます！
いろいろ使えるパーテイー空間

店内はこだわりの空間創りで
様々なパーティに対応。飲み放
題は勿論生ビール込みの料理5
品付き3,000円から(料理5
品付き1人3,000円)。貸切もOK。



美醸旬彩 匠の [たみの]

●住所／盛岡市大通1-11-4
●TEL 019-652-1804
●営業時間／18:00～深0:00(23:30LO)
●定休日／日曜
●席数／40席
●駐車場／なし



シックな空間で
季節の味覚を楽しむ

ここでしか味わえない
クラフトビールが全種飲み放題！

酒蔵「あさ開」直営の多国籍料理レストラン。宴会プランでは、「ステラビール」や「ホワイトステラ」など、造りたてのクラフトビールをはじめ、出しの稀少な原酒も飲み放題で味わえる。団体で利用するなら、1日1組限定の貸切がおすすめ。



鍋を囲って語らう宴会

盛岡城跡公園下、教育会館裏の「TEN」。落ち着きのある大人の隠れ家として人気のお店。宴会コースは「辛みそ坦々鍋」と「ごのご鍋」の2種類。鍋から選べます。辛みそはラーメン、いものこはうどんでシメるのがオススメ。厳選されたお酒とともにあたたかい鍋を囲う一味違った宴会を演出してみませんか？



プラン1
お1人様／4,000円
【ご予約は4名様より】
◆料理8品(お鍋は「辛みそ坦々鍋」「ごのご鍋」から選べます。他8品)
◆3時間飲み放題付／生ビール、日本酒、カクテル、各種

プラン2
お1人様／3,500円
【ご予約は4名様より】
◆料理8品(お鍋は「辛みそ坦々鍋」「ごのご鍋」から選べます。他7品)
◆2時間飲み放題付／生ビール、日本酒、カクテル、各種

アジアやイタリアを中心とした多国籍料理を大皿でお出ししています。宴会コースは希望に応じてメニューを変更できますので、お気軽にご相談ください。



忘年会プラン
お1人様／3,500円～[ご予約は4名様より]
◆料理7品一例／ペッナ・ム風生春巻き、中華風サラダ、フィッシュ&チップス、牛肉のピーリ煮、カルボナーラ、チーズ入りライスコロッケ、バジリコのスパゲティ、ジェラードの盛合せ
◆2時間飲み放題付／クラフトビール、日本酒、ワイン、焼酎、カクテル、ソフトドリンク



TEN [てん]

●住所／盛岡市菜園1-4-1 地下1階
●TEL 019-656-9696
●営業時間／17:30～翌1:00(深0:00LO.)
●定休日／月曜(連休の場合は最終日)
●席数／約40席
●駐車場／なし
●URL／<http://a-iwate.com/shops/32336>



多国籍料理 Stella Monte [ステラモント]

●住所／盛岡市大慈寺町10-34 ●TEL 019-624-7206
●営業時間／11:30～15:00(14:00LO.)、17:30～22:00(21:00LO.)
●定休日／年末年始
●席数／80席 ●個室数／1部屋(20～40名)
●駐車場／30台
●URL／<http://asabiraki-net.jp/>